

# 狛江市長選挙の結果についての声明

2022年6月27日

豊かな狛江をつくる市民の会

昨日、投・開票された狛江市長選挙において、市民活動をしていた周東三和子さんは、「市民ひと輝く狛江」、「助けてと言えるまち、助けてに答えるまちに」を掲げて立候補し、市民とともに市長選を闘い大健闘しましたが、残念ながら当選にいたりませんでした。多くの市民のみなさんのご支持・ご支援をいただきながら、市民のための市政を復活させることができなかったことを、心からお詫び申し上げます。

開票結果は以下の通りです。

## 【市長選挙】

◇投票率	43.26%	
◇各候補の得票数	周東三和子 候補	7,997 票
	松原としお 候補	21,451 票

中央図書館の分割・移転という利用者・当事者をないがしろにした権力的な施策の決定、市民協働を踏みにじった行政姿勢、そして国や都の決定には従うものの、物価高の中で、国民健康保険税の大幅値上げ計画をすすめるなど、暮らしに困っている市民の声を国や都に挙げず、市として出来ることをしない現市長に対して、選挙期間を通して厳しく批判し続けました。そして政策として中央図書館の現在地での増築等による充実、国保税の負担軽減や給食費の引き下げなどを掲げて闘ってきました。中央図書館の分割・移転を「まちづくりで考える」と現市長側が争点をはぐらかそうとしましたが、多くの市民に現状の問題を知ってもらうことができ、また、暮らしの問題など強い批判があることを示しました。

私たち「豊かな狛江をつくる市民の会」は、この思いをしっかりと受け止め、周東三和子さんが公約としてかかげた9項目の実現と、「助けてと言えるまち、助けてに答えるまち」づくりに、市民とともに引き続き全力でがんばります。

激戦の中、市民のみなさんから、周東三和子候補に寄せていただきました熱いご支持に重ねて感謝申し上げますとともに、大変悔しい結果となりましたが、引き続きお力添えを心からお願い申し上げます。ありがとうございました。